

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年11月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1270400698
法人名	社会福祉法人八千代美香会
事業所名	グループホーム佐和の杜
所在地	千葉県千葉市若葉区佐和町322-88 (電話) 043-228-7077

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】(19年10月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	6人, 非常勤 11人, 常勤換算 15人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他	食36,000+水光熱18,000+事務200+ゴルフ500+実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)		有りの場合 償却の有無	退居時の居室現状修復費 として清算し残金を返却
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均	85.9 歳	最低	77 歳	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉南病院 丸山歯科医院
---------	--------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体は、グループホームのほか特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業、認知症デイサービスも運営している。運営者、管理者、職員、入居者の表情が明るく、柔和で安心感に溢れている。研修、見学、地域住民の訪問、外出など頻繁に外部との接触があり、入居者に緊張感は見られない。キッチンを中心に幅広くとり、「食へのこだわり」を感じさせる。経営母体から高度なサービスと支援が提供され、入居者の信頼と満足度は高い。今後も変化に対応しつつ、サービスの質の維持とさらなる向上が期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念の表示について、玄関、居間、廊下に、大きくカラフルな字で掲示しており、改善されている。服薬の安全面では、入居者にも薬の確認をお願いしている。急変や事故発生に備え、応急救護研修、千葉南病院での医療研修などで事故防止に努めており、改善が見られた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価はユニット長が作成し、ユニットごとに異なる評価結果に対しては認識を共有し、計画作成担当者も加え、結果をまとめている。外部評価は第三者の目による評価を生かし、サービスの質の向上に役立つと認識している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に一度定期開催している。メンバーは地域包括支援センター、佐和町自治会長、大広町自治会長、家族代表、入居者代表などで構成され、討議内容は議事録で確認でき、グループホームの運営に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会はないが、家族との交流は盛んである。訪問者記録票によると、ほぼ毎日のように家族が訪問している。家族の訪問時には運営者、管理者、職員が日頃の様子を伝え、家族の希望を聞き出すことに留意している。さらに、グループホームの各種行事への参加を呼びかけ、入居者と楽しい一日を過ごせるよう配慮している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	新年会から忘年会までほぼ毎月、行事が開催され、地域住民も気楽に参加している。入口脇の畑では、地主さんの協力でさつまいも掘りをし、収穫している。外出は、入居者の希望で買い物、食事会など積極的に出かけている。入居者が無断で外出することもあるが、外出先はほぼ把握しており、地域住民にもあらかじめ伝え、協力を得ている。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「NOと言わない介護」に、「もっと自由に、もっと自然に」を新たに加え、独自に地域密着型グループホームの理念を作り上げている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関、居間、廊下のほか、各ユニットの台所、事務室などにも掲示されている。入居者1人に3つの目標を担当者が毎月作成、サービスの質向上に努めている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新年会、納涼祭、餅つき大会、忘年会などほぼ毎月行事を開き、地域住民を招いて交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、ユニット長は自己評価の意義を担当者に説明し、職員の意見を反映して記入している。昨年の指摘事項は改善に努めている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は地域包括支援センター、自治会長、家族代表、入居者代表などで構成され、2ヶ月に1度定期開催している。討議内容は議事録に残し、運営に反映させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	母体の特別養護老人ホームが隣接し、市町村担当者がよく訪れる。行政のパンフレット(虐待防止マニュアル)作りに協力したり、共に質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「佐和の杜号つうしん」は毎月豊富な写真入りで近況報告し、行事案内を伝え、参加を呼びかけている。金銭面は請求書送付時に出納報告している。職員の異動も伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「家族会」はないが、職員は担当制で家族との接触到留意しており、家族の意見を運営に十分反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	隣接の特別養護老人ホームと交流人事をしているが、異動時には家族や入居者に影響のないよう時間をかけて説明し、理解を得るよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部研修ともに豊富で、認知症、医療、消防、リーダー研修など多岐にわたる。参加者は報告書を作成、発表している。受講機会は正規・非常勤職員の区別なく均等である。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県認知症高齢者グループホーム連合会に積極的に参加している。他のグループホーム施設長、職員の研修も積極的に受け入れ、同業者の信頼を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と本人の面談を重視し、徹底的に話し合っている。職員は外出や食事を共にしたり、言葉かけや態度で、入居者が安心して暮らせるよう温かい雰囲気作りを努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>特性や人生経験を生かした役割を持ってもらえるように、職員は入居者をよく観察し、場面作りをしている。調理、お茶、配膳、掃除など明るい表情でこなし、職員も教えられている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ホーム長が入居者と面談したり、担当職員と入居者の会議もあり、意見や要望を聞き出している。入居者は散歩、買い物、食事などの場面で希望の表出ができています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成前に入居者の近況を家族に説明し、要望を聞いた上で、3ヶ月目標を1人に3つ設定し、評価している。この手法は家族からとても喜ばれている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日ごとの状況はケース記録を通じて職員間で共有し、入居者、家族、計画作成担当者が相談しながら、状況に応じて見直しをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	「NOと言わない介護」を理念に掲げ、併設施設(特別養護老人ホーム、デイサービス、介護予防)との交流や相談で支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	眼科、皮膚科、整形などは家族の協力に対応してもらい、内科は提携病院の主治医による回診などで対応している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	敷地内に特別養護老人ホームがあり、介護度が上がった場合は移れる体制にあるので、家族は安心している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	広報の配布は家族の了解を得ており、個人情報書類は所定の場所に保管している。職員が共有している個人情報には社外秘の原則を守っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者の希望を出来るだけ聞けるように職員を配置しており、入浴やレクリエーションの参加など決して無理強いしないよう配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は競って台所の手伝いをしている。昼食の調理や配膳、片付けなど、出来る人に出来ることをやってもらうように、職員は楽しく話しかけている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴はおおよそ時間や順番を決めているが、希望に合わせて入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、入居者の得意分野を把握し、場面作りに気を配っている。猫や鳥のえさやり、畑の水やり、郵便物の集配、裁縫、お茶入れなど全入居者が役割を持って暮らしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候が良ければ富士山や河口湖へドライブしたり、日常的には庭での日向ぼっこや畑仕事など、できるだけ外で過ごすことを楽しめるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開所時から一貫して、居室とフロア入口の鍵は昼間かけていない。入居者が無断で外出しても、職員は行き先や行動特性を把握している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	特別養護老人ホームと合同で年3回、定期防災訓練(昼間対応、夜間対応)を入居者も含めて行っている。防災ずきんや備蓄3日分を確保している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は各テーブルに職員一人が付き、一緒に食事しながら食事・水分量などをチェックし、改善策を検討している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間はどこも明るく清掃に保たれ、季節の草花や作品の数々が居心地良く感じられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具、調度品、机、椅子、仏壇、TV、ビデオ、写真、作品など、家族の協力で馴染みの品々が持ちこまれており、安心して過ごせる配慮がいき届いている。		